

1年生「総合的な探究の時間」Newsletter



# Bird land

## 〈第2号〉

2021年6月7日

京都府立西舞鶴高等学校

—特色推進部—

### 〈1年生の目標〉

SDGsの視点を通して、舞鶴（北近畿）を理解し、課題発見・問題解決の能力を向上させていく。

### 〔第2回 総合的な探究の時間〕5月6日（木）6時間目 「課題レポート発表会」

第2回は「課題レポート発表会」を行いました。

1年生は入学前の春休み課題として、自分たちの住んでいる町について調べたり、SDGsについてまとめたりしました。SDGsの17目標のうち自分が最も関心のある目標についての考えを発表してもらいました。



#### 振り返り～特に印象に残った発表について～

○「ジェンダー平等を実現しよう」についての発表が特に印象に残りました。私は世界的に見た課題や国内での取組についてまとめていたけど、その人は学校の制服が選べるようになった話題について発表していました。世界で起きていることに目を向けることも大切だけど、自分たちの身近なところに着目することによって、その問題を「自分事」として捉えることができるようになるのではないかなと思いました。また、他の項目についても、自分事として捉えることができるように、身近な話題から取り上げていきたいです。（1組）

○1つの目標を達成することで、もう1つの目標のゴールに近づくという考え方は、やはりこの17項目の目標が世界中で複雑に絡み合っているのだと改めて気づきました。差別をなくすた

めに自分ができることを考えていたと同時に、世界の医療の問題と日本の医療の問題とを合わせて発表していたので、とてもわかりやすかったし、内容を頭に入れやすかった。僕も今自分に何ができるのか、何を知らなければならないのかをもっと深く考えたいと思った。（2組）

○私は性別的に立場が弱いのは女性だけだと思っていたけれど、確かにジェンダーレスの人も性別の立場で考えたら弱い方になるのかなと思った。多様性が求められる世の中であるにもかかわらず、生きづらさを抱えているジェンダーレスの人の話を聞いたことがある。すべての人が自分の本当の姿で過ごすためには周りの人間の行動が大切だと思った。差別的な態度をとるのではなく、「そういう考え方もあるのか」と広い心をもって相手のことを肯定することが、平等な社会のためにも、すべての人のためにも重要だと思った。（3組）

### 〔第3回 総合的な探究の時間〕5月13日（木）6時間目 「15年前の世界と未来の世界」

第3回目は世界9か国（日本、アメリカ、中国、デンマーク、モンゴル、ネパール、バングラデシュ、イエメン、ウガンダ）の2001年と2016年の人口、5歳未満児の死亡率、成人識字率、女性の国会議員数の割合、二酸化炭素排出量、ジニ係数（所得格差を表す係数）の推移について、ワークシートを用いて考察し、その推移がどのようなことを示しているかをまとめました。



#### 振り返り

○私は今日、少しだけ安心したことと不安に思ったことがあります。安心したことは、世界全体で学習を大切にすることができた人が増えたことや、女性が活躍できる社会になってきているということです。先進国、途上国関係なく助け合えたからできたことです。これからも世界全体が一つになって、一人でも多く苦しんでいる人を救いたいです。私が不安に思ったことは、人口増加がものすごい勢いだということ、二酸化炭素が増えていることです。どれだけ学習を受けさせることや一人でも多くの人を助けるという目標を立てても、地球に住めなくなったら意味がありません。だから一人一人が意識することが大切だと思います。（4組）